

桐生梅田の奥深い山の中にひっそり佇む

石鴨天満宮にて始まる

かぐらだぶらプロジェクト。

石鴨天満宮宵神楽によせて

「神樂」というと、神社で行われる舞やお囃子のことを連想すると思います。

そして、神楽師の間では、読んで字の如く「神様が楽しむ」という風に理解されています。

しかし、もつと多くの可能性を秘めたものが神樂です。

「神樂（かぐら）」という言霊の中には、日本人が本来、古くから持っている、

忘れてはならない感覚が凝縮されていると感じています。

自然への感謝、他人を尊敬し思いやり、物を大切にする、自分の地域を大切にする、日本芸能の重要な要素の即興性、等々が上げられます。

「神樂」に関わり、その舞や音、連帶の和の中からそんな感覚が自然と身についていくことがあります。

そんな「神樂」の世界觀を、気軽に誰でも体験できる場を作りたいという思いから、「かぐらだぶらプロジェクト」が発足しました。

石鴨天満宮宵神楽は、梅田の桐生川の源流にひっそりと鎮座する石鴨天満宮で開催されます。

桐生にとって、非常に意味のある神社ですが、この神社はあまり知られていません。

清流の水音の中、夕闇が降りてくる時間帯、人間の耳も感覚も普段よりも敏感になるはず、そこから始まる、新しい神樂のカタチ。

● 石坂 玄士	（神樂太鼓）
● 山賀 さくろ	（ダンス）
● 高峯 一寛	（鳴物）
● WOOD-Y	（ダンス）
● 宇佐見 仁	（歌・舞・神事）
● 中村 香奈子	（横笛）
● 中津川 信	（糸操り人形）

石坂 草吉・石坂 孟士・石坂 京子
滝浦 千寛・滝浦 瑞季・滝浦 光子

高峯 大悟・高峯 里桜・高峯 留美子
石田 真樹子・石田 咲樹

加藤 太道・加藤 直美
加藤 光哉・加藤 日香里

星 博江・星 聰・星 亘

星 歩・星 匠

中田 円・森下 直哉
藤生 順朗・藤生 洋子



Kagura Dubla

